



# 地区支部だより

滋賀県看護協会第1地区支部  
支部長 北川 有紀  
〒520-2192 大津市瀬田月輪  
滋賀医科大学医学部附属病院

## おおつ健康フェスティバル

### ～救急蘇生法・AED体験/看護のお仕事紹介コーナー～

2025年10月19日（日） 明日都浜大津

滋賀県看護協会第1地区支部と看護ネットは、協力団体としておおつ健康フェスティバルに参加しました。今年度は「のぼそう健康寿命ー生き生きと自分らしくー」をテーマに、おおつ健康フェスティバルが開催されました。13団体で構成される実行委員会が主催となり、各団体が趣向を凝らした健康に関するさまざまなステージイベントや、子どもから大人まで楽しめるコーナーが設けられ、会場は多くの来場者で賑わいました。滋賀県看護協会第1地区支部と看護ネットのブースでは、「救急蘇生法・AED体験/看護のお仕事紹介コーナー」を実施しました。滋賀医科大学医学部附属病院、大津赤十字病院、地域医療機能推進機構滋賀病院のBLSインストラクター計5名とともに参加し、来場者の皆さまに体験していただきました。ブースには、初めて体験される方から、振り返りのために定期的に参加されている方まで、150名以上の市民の方が訪れました。お子さまがお母さんと一緒にAEDを体験する姿も見られ、真剣な表情で取り組む様子が印象的でした。また、「看護のお仕事紹介コーナー」では、ナースキャップやナース服を着用できる体験コーナーも設け、小さな看護師さんに変身したお子さまたちが誕生し、記念撮影を楽しむ姿が見られました。今後も第1地区支部では、大津市民の健康を支える活動に取り組んでまいります。



最後に、救急蘇生法・AED体験コーナーを担当してくださったスタッフの皆さまに、心より厚く御礼申し上げます。

## 第1地区支部・看護ネット共催研修会

### 「地域看護力向上のためにできること」

2026年1月24日（土） 滋賀県看護協会

令和7年度の滋賀県看護協会の重点事業の一つである「全世代型地域包括ケアシステムの推進と看護職連携強化による地域看護力向上」を踏まえ、第1地区支部では看護ネットとともに「地域看護力向上のためにできること」をテーマに研修を企画しました。大津圏域で働く看護職6名をお迎えし、それぞれの施設の役割などについて発表していただきました。発表では、大津市の統括保健師より、大津市の医療・福祉の現状や保健所の活動についてお話を伺うことができました。また、訪問看護ステーションや病院で勤務されている看護職からは、地域で求められている施設ごとの役割や取り組み、日頃感じている課題などについてお話しいただきました。後半は、看護ネット委員長の橋添礼子氏を座長に迎え、発表された6名の方にパネリストとしてご参加いただきました。会場からの意見も交えながら、施設同士の連携やACPあり方、住み慣れた地域・住まいへ帰るための支援などについてディスカッションが行われました。時には真剣に、時には笑いも交えながら、活発な意見交換が行われた有意義な研修となりました。



今回の研修には、70名の看護職の方々にご参加いただきました。アンケートでは、「患者を多角的な視点で把握し、必要な支援につなげることの大切さを再認識した。管理者として視野が広がった」「連携の中で何をつなぐのか、つなぐ先に必要な情報は何か、自部署に求められる役割は何かを改めて考える機会となった」などのご意見をいただきました。また、今後の研修内容に関するご要望もいくつか寄せられました。今後も、皆様からいただいたご意見を参考にしながら、大津圏域ならではのニーズに沿った研修を企画していきたいと考えております。



# スペシャリスト出前講座 ～スペシャリストに学ぶ～

スペシャリスト出前講座は、「さまざまな領域の専門看護師・認定看護師による講義や指導を通して、各施設における看護の質の向上を図る」ことを目的に、施設のニーズに応じた領域の専門看護師・認定看護師を派遣する取り組みです。今年度は10月から12月にかけて、病院や訪問看護ステーションで活躍されている23領域の専門看護師・認定看護師の方々にご協力いただき、7施設でスペシャリスト出前講座を開催しました。今回は、「慢性疾患看護専門看護師」「精神看護専門看護師」「認知症看護認定看護師」「救急看護認定看護師」「感染管理認定看護認定看護師」などの専門看護師・認定看護師が講師を担当しました。講座の実施にあたっては、依頼施設と事前に対象ラダーや希望するテーマ、目標設定などについて打ち合わせを行い、より効果的な研修となるよう準備を進めていただきました。各施設が求める人材育成や看護力の向上に向けて、専門看護師・認定看護師の皆様に多大なご協力をいただきました。

研修アンケートの結果からは、「医療者は患者さんのこれまでの経過や背景を踏まえ、個別的な管理方法を検討する必要があると感じた。今後はより患者さんと向き合いながら検討していきたい」「実践する職員が増え、病棟全体でケアの質の向上につながっている」などの意見が寄せられました。スペシャリストから学ぶことで理解が深まり、「看護の質の向上を図る」という本講座の目的が達成できたのではないかと考えています。大津圏域には多くの専門看護師・認定看護師が在籍しています。次年度も本講座の開催を予定しておりますので、各施設における看護の質向上のために、ぜひこの機会をご活用ください。最後に、講座を担当していただいた専門看護師・認定看護師の皆様に、心より厚く御礼申し上げます。



## 大津赤十字志賀病院 ～病院紹介～

当院は、2002年7月1日に国立療養所比良病院の後を引き継ぎ開院しました。琵琶湖と比良の自然環境に囲まれており、訪れる人々に四季折々の癒しを提供できる環境にあります。ご来院の際には、デイルームからの絶景を是非ご覧ください。

「何度も行きたい場所じゃないから行って良かったといわれる病院を目指す」を病院スローガンに、地域密着型の病院機能を強化し、個別的に対象を支える施設として、地域の皆さんの期待に応えられるよう努めています。また、健康増進や予防・早期発見、回復期・慢性期の症状悪化防止にも注力しています。



看護部方針は、「人を大切に、関わりを大切に、信頼される看護を実践し、成長し続ける組織を目指します。」です。人間としての尊厳を守り、生活に焦点を当てた看護にこだわっています。志賀日赤看護チームの看護の質向上の目的で、科学的根拠と倫理的判断を養い、カンファレンスや研修でリフレクションする機会を大切にしています。「志賀日赤らしい看護って」と時に立ち止まり、看護観を語り合える時間は貴重です。

「大津市北部には志賀日赤があります」第一地区支部の関連施設の皆様、今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

文 看護部長 伊吹 はまよ

地区支部だよりは、滋賀県看護協会ホームページにも掲載しています。